

# 症状がないから

# 受けようがん検診

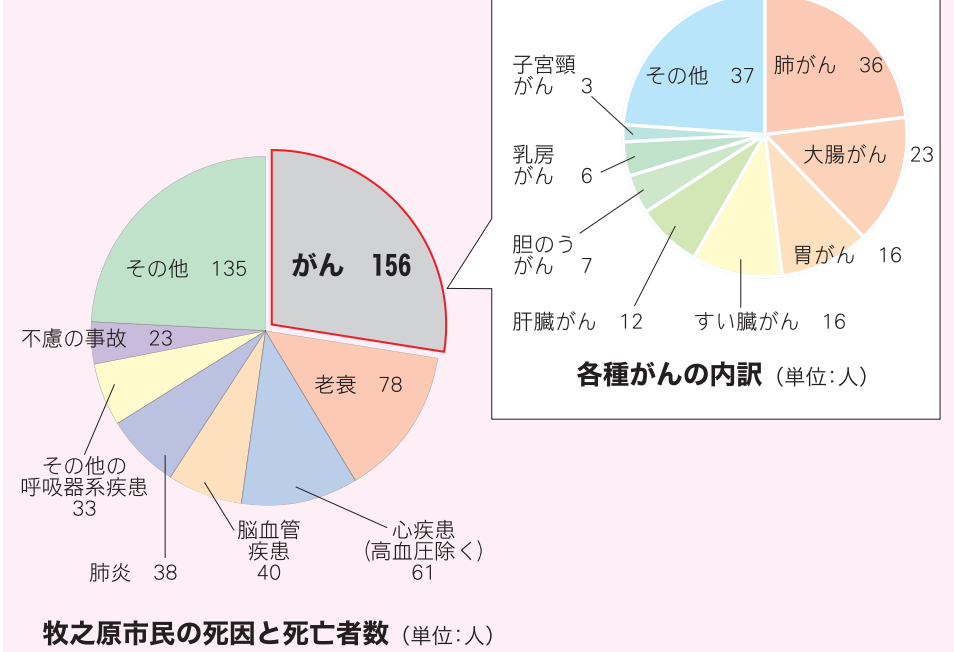
## がんは牧之原市民の死因の1位

平成28年度の牧之原市内の死亡者564人のうち、がんが原因で亡くなったのは156人でした。がんは、牧之原市民の死因で最も多いものとなっています。

中でも、肺がん・大腸がん・胃がんが約半数を占めていますが、この3つのがんは、検診を受けることでがんを早期に発見することができ、死亡率を減少させる効果があると認められています。

がんにかかる人の約3割は40～64歳の働き盛りの世代です。40歳(子宮頸がんは20歳)を過ぎたら、定期的にがん検診を受け、がんが見つかったら、早期に治療することが大切です。

「平成28年静岡県人口動態統計」から引用



日本では、生涯のうち2人に1人ががんにかかり、男性では4人に1人、女性では6人に1人ががんによって死亡すると言われています。

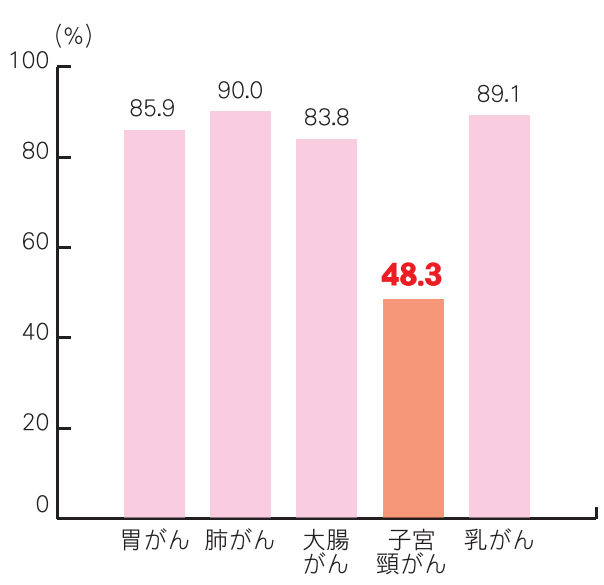
平成28年には、国内で約37万3000人ががんによって死亡しており、日本人の死亡原因の第1位。がんは今や国民病とされています。

問い合わせ 健康推進課 大隅 ☎(23)0024

## がん検診で「要精密検査」となった人へ

今年度、がん検診を受診し、「要精密検査」という結果が出ました。引き続き検査が必要です。」と判定された人は、精密検査を受診されましたか？

平成29年度牧之原市がん検診精密検査受診率



牧之原市の精密検査の受診率は比較的高いですが、子宮頸がんの受診率は48.3%と半数を下回っています。

子宮頸がんの発病率は増加傾向にあり、特に20代～30代の子育て世代の女性に発病が多くなっています。

## 「要精密検査」の結果が届いたら、次のような検査が必要になります

- 胃がん 胃内視鏡検査
- 肺がん CT検査や気管支鏡検査
- 大腸がん 大腸内視鏡検査
- 子宮頸がん コルポスコープ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせた検査
- 乳がん マンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検などの検査

## ！こんな思い込みは危険です！

- 「自分はきっとがんにならない」**  
日本人の2人に1人ががんになると言われています。がんは誰にでもかかる可能性のある身近な病気です。
- 「健康には自信があるので大丈夫」**  
がんは無症状であることが多い病気です。また、さまざまな要因で発病するため、どんなに気をつけていても、完全に防ぐことはできません。
- 「がんと診断されるのが怖い」**  
がんは今や、不治の病ではありません。例えば、胃がん・乳がんは早期発見・早期治療で生存率が100%近くになります。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、症状がなくても安心せず、必ず精密検査を受けましょう。

### ■胃がん・乳がんの臨床病期別5年相対生存率

ステージ	I期	II期	III期	IV期
胃がん生存率	95.0%	68.8%	42.8%	9.0%
乳がん生存率	100.0%	95.7%	81.6%	35.2%

資料：(公財)がん研究振興財団『がんの統計'16』  
全国がん(成人病)センター協議会加盟施設における5年生存率(2008年診断症例)

\*5年相対生存率とは  
「あるがんと診断されて治療した人のうち5年後に生存している人の割合」が「日本人全体で5年後に生存している人の割合」に比べてどのくらいの割合が表すもの。

\*ステージとは  
病期とよばれるもので、がんの進行度を分類するもの。数字が大きいくほど、進行したがんを表す。

- 検診で必ずがんが見つかるわけではありません。気になることがあれば、早めに病院を受診してください。
- がん検診では、がんではなくても「がんの疑い」があると結果が出ることもあり、さらなる検査が必要になる場合もあります。
- 精密検査は、検診を受けた機関で受診可能ですが、かかりつけ医がある場合は、そちらに相談してください。
- 精密検査の結果について、医療機関から精密検査結果連絡票の返信がない人は、病院や市役所の保健師などから受診確認の連絡をさせていただくことがあります。
- 不明な点や相談したいことがありましたら、健康推進課(☎230024)まで気軽に連絡してください。



### [2019年度の検診について]

来年の2月頃に、対象者がいる世帯に「2019年度がん検診等申込調査票」を郵送します。この調査票は、市の検診以外での受診状況を把握するものでもあります。検診を希望する人も、職場の検診や人間ドックなどで受診機会がある人も、必ず記入して提出をお願いします。また、提出のない人には受診勧奨の通知を郵送します。ご理解とご協力をお願いします。